

同窓会報

宮城県大河原商業高等学校 同窓会事務局
 〒989-1201 大河原町西原前 154-6
 電話 0224-52-1064 FAX 0224-52-1568
 URL http://www.ogs.myswan.ne.jp
 編集・製作 (有)明倫社

大河原町立実科高等女学校 大河原実科高等女学校
 大河原高等女学校 大河原高等女学校
 大河原中學校 大河原商業高等学校

満開の一目千本桜



同窓会長

大沼 俊臣

同窓生の皆様お元気ですか。

それぞれの地域で活躍のこととお慶び申し上げます。今年も若者達全日制一九四名・定時制七名が大いなる希望をもって、母校を巣立って行きました。職場や地域で諸先輩方との出逢いがあることと思います。その節はぜひ同窓生の誼で支えて頂ければ幸いです。

さて私事ですが昭和四十三年卒で、その後無線学校へ進学し夢をもち、漁船の通信長として九年間乗り組みました。農家生まれの私です。で最初からめずらしい事ばかり、なれるのが大変でした。外国航路にあこがれてこの道にふみ込んだのですが、現実には甘くありませんでした。でもたくさん外国地に立ちより、多くの国を見る事が出来、人生にとって良かったなと今は思います。

現在の若者は、まず夢を見るのが少ないと思います。まず夢を見て、実現は少ななくて良いと思います。それによって進む方向が良きものとなればと思います。我々の母校はこれから創立百周年も迎えようとしています。同窓会の皆様益々団結し、スムーズな運営をしていく様、皆様から応援を受け努力していくと思います。先日柴農との合併の事で我が同窓会と柴農同窓会の話し合いをさせて頂きました。前向きに同窓会の合併を考えていくこと目標で会議は終わりました。五年後の合併まで色んな良き意見を皆様から聞き結論を出したいと思えます。

同窓会の皆様にとつて今年もご健勝で多幸の一年でありますよう、心より祈っております。

前同窓会会長

安藤征夫君を偲んで



同窓会副幹事長 西山 茂人

私は昭和三十七年度(三十八年三月)商業科を卒業、安藤前会長とは、大河原小、中学校はもとより幼年期からのガキ友でした。

平成二十九年七月二十八日、七十三歳(享年七十四歳)大変惜しまれての別れでありました。俄かの訃報に、多くの知人や友人が通夜や葬儀に駆けつけて頂き、ご家族と悲しみを共にしたこと、今も忘れる事が出来ません。

早すぎた別れに直面し、長年心の拠りどころとしていた当り前の日常が、突然崩れ「もう会えないのだ」と我れに返ったとき、計りしれない喪失感に打たれたものです。

食道癌と闘う事二年有余、この間十数時間にも及ぶ大手術一回、術後の抗がん剤治療と、入院を繰り返しながら、体力的にも精神的にも当に限界を越えていたにも関わらず、周囲の方々からの手助けも頂いての必死の終活は見事なものでした。

亡くなる前の数週間は緩和ケア病棟での生活でしたが、やゝもすると暗くなりがちな病棟です。自慢のウクレレや、ハーブによるミニコンサートを聞くなど、病棟の看護師さんや、患者さん、付添家族の方々と、和ませてくれました。飄として物事に拘らず、分け隔てなく人に接し、地域を愛する優しさは若い頃から、誰からも好かれる性格でした。

若千三十三歳という若さで、大河原町議会議員に当選し、十期四十年の任期を全う出来た事は、蓋し当然であった様に思います。

この間、数々の要職に就く傍ら、昭和四十一年、二十一歳で同窓会理事となり、以来五十年

母校の歴史に深く関わりながら、その発展に夢を馳せて来たのです。

本校卒の先輩や後輩達の活躍に、わがことのように一喜一憂していた彼の姿が偲ばれます。

平成十年、長く会長をお務め頂いた庄司久治会長の後任として会長に推挙されて以来、在校生の活躍や母校の発展、変遷の様子など、様々な形で内外に発信してくれました。

毎年春発行の同窓会報にある、会長挨拶には、巣立つ卒業生への惜しみない祝意の中に、必ず折り込まれている言葉があります。

一、慣れ親しんだふるさとへの感謝
 一、困った時には先輩を頼れ
 一、先輩諸兄には後輩達への応援を、
 地域や母校を愛して止まない、熱い思いの一文である。彼の根底に流れる「誰かのために」正に利他の精神を貫いた活動家、安征君

追悼

同窓会長 大沼 俊臣

長年、同窓会をまとめ精力的に物事を結束し人々に愛されて来ました前同窓会長・安藤征夫様が、平成二十九年永眠されました。生前の頑張り和我々の心の宝を失ないまして残念であります。

謹んで皆様にお知らせ申し上げますと共に安らかに眠り下さい。

校長一年目を終えて



校長 佐々 浩二

同窓生の会員の皆様には、日頃より本校の教育活動のためご尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度の活動については役員会や総会といった定番の行事に加え、平成三十五年度の柴田農林高校との合併に伴う同窓会のあり方について、大酒会長をはじめ役員の方々の協力を得て、柴田農林高校の同窓会役員と意見交換を持つことができました。両校とも同窓会統合に向けての意思は確認しており、今後の統合に向けたプロセスをどのように作っていくかが重要と考えております。会員の皆様方にも多くのご意見をいただき進めて参りたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

さて、昨年度の本校の部活動についてはギター部が全日本ギターコンクールで最優秀賞(優勝)を受賞し、県庁表敬訪問を行っております。また吹奏楽団が県のコンクールで銀賞、簿記部・コンピュータ部・珠算電卓部・ワープロ部で全国大会に出場しており、学芸部の活躍が目立つ年でした。運動部では残念ながら部員不足で多くの部が悩み苦しんでいる状況ですが、その中であってソフトテニス部が県高校総体で優秀な成績を収めております。

昨年度の事業ではヤフージャパンのヤフーショップを活用し、喜多屋の商品を販売させていただいたデジタルマーケティング事業や県内公立学校では初めて導入されたリクルートのスタディサプリ活用事業を行っております。特にデジタルマーケティングでは本年度大河原町商工会との連携を模索するとともに、町と協力し「ふるさと納税」についてもお手伝いできればと考えております。また、入学式や卒業式での駐車場を菓匠三全にお借りしており、その御礼に本校生徒によるキャラクター作りも計画しております。

それぞれの活動について大変な努力はかかりますが、地域と連携し開かれた学校づくりを行うためにも推し進めて参ります。会員の皆様には何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、今までと変わることはないご高配とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本校同窓会がますます発展すること、会員の皆様のご活躍・ご健勝を祈念して年度初めのご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

大河原商業高等学校に

赴任して



教頭 (全日制)

安齋 善和

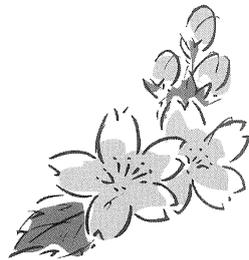
この度の人事異動により、佐藤真教頭先生の後任として宮城野高等学校より着任いたしました。

仙南の地での勤務は二回目となります。一回目は、教員生活八年目に歴史の新しい柴田高等学校に赴任し十年近く教鞭をとってまいりました。今回は歴史ある伝統校において教員生活三十年目の歩みを始められることを大変光榮に思っております。

さて、私は柴田高校時代の教え子に自家用車の整備・点検をお願いしています。つい先日、彼の勤務する自動車販売店を訪れタイヤ交換や定期点検をしてもらいました。彼は、丸森東中学校出身で、柴田高校時代は野球部の控え投手でしたが、専門学校を経て大手自動車会社に就職し、現在はサービスエンジニアのリーダーを務めています。実直で誠実な性格を生かし自動車整備士として活躍している彼は、仙南の地で出会った私の自慢の教え子です。いつものように、手際よく点検を進める彼の傍らで整備の様子を見学していると、今回の私の異動について話が進みました。彼は嬉しそうに「大商は、母と姉の母校です」と教えてくれました。「姉はギター部だったので、毎年全国大会に遠征していました」とも付け加えてくれました。「お姉ちゃん、青い制服を着て通っていたのだね」と私が訊くと、彼はニコニコと頷いていました。

また、本校は私の義母の母校でもあります。角田市毛萱出身の義母は、バス通学で本校に三年間通い、充実した高校生活を送っていました。その姿を見ていた義母の妹も本校に大きな魅力を感じ、本校に進学したそうです。義母によれば、当時の本校は女性の社会進出

を後押しすべく門戸を開放し、生徒が実学を身に付けていくことのできる教育環境を提供する、大変魅力ある学び舎であったそうです。私の人生の周囲にあつて常に私を支えてくれている大切な人たちを育て、導いてくれたのが本校の卒業生であることに機縁の糸を感じています。本校の伝統を引き継ぐべく精一杯努めてまいりますので、同窓生の皆様、御支援・御協力のほどよろしくお願ひいたします。



人事往来

○御勇退者

- 目黒 清美 先生(全) 退職
- 佐藤 嘉則 先生(全) 定年退職
- 田中 源三 先生(定) 定年退職
- 増岡 隆 先生(全) 講師
- 齋藤 一 先生(全) 講師
- 大沼 佳子 先生(全) 講師
- 今野 敦 先生(全) 講師
- 日下 真里子 先生(全) 講師
- 目黒 敬章 先生(定) 講師
- 桑島 啓 先生(事務)

○御転出者

- 佐藤 真 教頭先生(教育庁スポーツ健康課)
- 板垣 俊哉 先生(小松島支援)
- 畠 雄史 先生(石巻好文館高校)
- 菊地 聖子 先生(拓桃支援)
- 品川 諒 先生(石巻商業高校)
- 大友 慎太郎 先生(石巻北高校)
- 半澤 裕子 先生(七ヶ宿小学校)

ご勇退なさいました先生方の御健勝と御転出される先生方の新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。

○御転入者

- 安齋 善和 教頭先生(宮城野高校)
- 小林 雄一 先生(定)(貞山高校)
- 村田 政浩 先生(県工業高校)
- 柴田 明郎 先生(貞山高校)
- 丹野 渉 先生(県教育庁生涯学習課)
- 永山 博士 先生(仙台南高校)
- 大出 彩 先生(仙台南高校)
- 佐藤 守 先生(鹿島台商業高校)
- 舟山 哲平 先生(新採)
- 早坂 美由起 先生(登米高校)
- 大國 奈々子 先生(講師)
- 小平 香里 先生(新採)
- 藤原 恵 先生(講師)
- 加藤 純寿 先生(船岡支援)
- 伊藤 美幸 先生(柴田高校)
- 小田島 千尋 先生(講師)
- 菊地 紗代 先生(講師)

目黒清美先生、田中源三先生、佐藤嘉則先生が退職を迎えられました。今年度目黒先生は非常勤講師、田中先生は再任用として勤務されます。また、今回、同窓生として、佐藤守先生(平成十一年卒)が転入されました。よろしくお願ひいたします。

○訃報

- 安藤 征夫 さん
平成二十九年七月逝去
- 同窓会長 平成十年〜平成二十八年
- 遠藤 幸さん
平成二十九年十二月逝去
- 同窓会幹事・常任幹事
昭和六十一年〜平成二十二年

長年にわたり同窓会役員・会長をつとめられた安藤さん、同窓会役員の方々の学校食堂営業をしていただいた遠藤さんのご冥福をお祈り申し上げます。

同窓会総会報告

本部総会

平成二十九年五月二十七日（土）、大河原町の総合会館ララ・さくらを会場に平成二十九年同窓会本部総会が開催されました。

四月から新校長として、本校の同窓生でもある佐々浩二先生が赴任されたこともあり、当日は、多数の恩師の先生方にもご参加いただきました。また、平成二十九年三月に卒業したばかりの同窓生の方にも参加いただきました。ここ数年で若い世代の同窓生の参加率も増えてきており非常に嬉しい限りです。

総会では、柴田農林高校との統合についての話や、同窓会運営についての協議等が行われました。協議の中で今後の運営を活性化する方法として当番学年の同窓生の皆様に活発な会への参加を促すとともに、創立一〇〇周年に向けた募金のための口座を開設して募



金を募ってみるという提案がされました。これについては、平成二十九年途中で準備を整え平成三十年より運用していく方向でまとめられました。

総会後には、五年ぶりに全国大会最優秀賞に輝いたギター部の演奏も行われ、アンコールでは当日ご参加いただいた永山亜男先生にも指揮をしていただく場面もあり大変盛り上がりしました。

演奏会終了後には、懇親会が開催され、恩師の先生を囲みながらの思い出話や、同窓生の皆さんの活躍されている職場の話などで盛り上がり、盛会のうちに終わりました。

ご参加いただいた恩師の皆様、同窓生の皆さんに心から感謝申し上げます。

同窓会総会は、毎年五月の第四土曜日に開かれます。五月に入りましたら近隣にボスター等も掲示されますのでぜひお気軽にご参加いただければと思います。また、大河原商業高校内にあります同窓会事務局にご連絡いただければ日程の詳細もお伝えしておりますのでお問い合わせいただければ幸いです。

東京支部総会

平成二十九年六月二十四日（土）、毎年恒例となりました上野御徒町にある「吉池」にて東京支部総会が開催されました。東京支部総会は、幅広い年齢層の同窓生が集まり、毎年アットホームな雰囲気の中で開催されています。今年度は二十四名の同窓生が集いました。事務局からは副会長の佐藤澄好さんと、今年度赴任された本校の同窓生でもある佐々浩二校長先生にお越しいただきました。

総会については、本部総会で協議のあった内容について話し合わせ、円滑に議事が進みました。

懇親会では、当初欠席予定だった三宅義信先生も参加していただけることになり大いに盛り上がりました。

に盛り上がりました。

東京支部総会は、毎年六月の第四土曜日に御徒町の吉池で開催することで同窓生の皆さんが継続的に気軽に参加できるようにと考えております。上野駅からアメ横通りを抜けてすぐの御徒町駅の前でするので、ぜひ近郊からも参加していただければ幸いです。事前の申し込みがございましたら、遠慮無く同窓会事務局（宮城県大河原商業高等学校内）にご連絡ください。



宮城県大河原商業高等学校 創立一〇〇周年記念事業 募金のお願ひ

本校は、平成三十三年（二〇二二年）に創立一〇〇年を迎えます。大正十一年（一九二二年）に「大河原町立実科高等女学校」として設立され、昭和二十四年には宮城県柴田高等学校普通部、同二十八年には宮城県大河原高等学校として分離独立いたしました。昭和四十八年四月には現在の宮城県大河原商業高等学校と改称され、今日に至っております。

この間、「文質彬彬」を校是とし、良き伝統と歴史を積み重ね、今日の発展を築き上げて参りました。現在は、仙南地域の唯一の商業高校として、産業を担う人材を輩出し、地域社会の発展に貢献しています。卒業生はこれまで二万名を超え、その活躍は国内外にわたっているところです。

私たちは、この記念すべき百周年を迎えるにあたり、母校の発展を期して記念事業を計画しております。記念事業の実施に当たっては、今後、同窓会・学校・PTAと協力し百周年記念事業実行委員会を組織して参ります。つきましては、出費多端な折、誠に恐縮ではございますがこの趣旨にご理解ご賛同いただき、皆様の絶大なる御協力と心からの御芳志を賜りたくお願い申し上げます。



全 日 制

全日本ギターコンクールへ 出場して ギター部 加藤 直裕

私たちギター部は、十月九日に埼玉県和光文化市民センターサンアゼリアで行われた第四十八回全日本ギターコンクールに出場してきました。昨年度は五年ぶりに最優秀賞を手にしたことができたので、今年度は二連覇を目標に練習に励んできました。

今年度は課題曲に「茶つみ」、自由曲に「風のプレリユード」を選曲しました。「風のプレリユード」は、もともとマンドリン合奏用に作曲されたものです。風のように流れる音符の羅列とテンポの速さに苦戦し、練習を重ねれば重ねるほど新しい課題が見つかりました。また、部員の半数以上が一年生であり、入部してから半年もたずにコンクールに出場することに不安もありましたが、先輩たちは根強く指導につけてきてくれました。



今年度は、昨年度までと違う会場であること、受付時間が早まったため朝に練習する時間がなかったこと、また、会場ではホール以外での音出しが禁止されており、リハーサルまで指を慣らすことができないなど、戸惑うことがたくさんありました。しかし、お忙しい中たくさんOB・OGの先輩方や父母の会の方々が駆けつけてくださり、激励の言葉をかけてくださいました。そのおかげもあり、本番では「大商サウンドを観客の心に響かせる」という目標どおり、会場に感動の風を吹かせることができたと思います。細かいミスはありましたが、演奏後は多くの方に「良い演奏だったよ!」と声をかけていただきました。緊張もしましたが、コンクールの雰囲気にもまれず、楽しんで笑顔で弾くことができました。

審査の結果、私たち大商ギター部が最優秀賞に選ばれ、二年連続の日本一になることができました。これは、私たちを指導してくださっている顧問の先生方やOB・OGの先輩方、いつも応援してくださっている地域の皆様、そして何より家族の支えがあったからこそだと思っています。

苦労したことも大変だと感じたこともたくさんありましたが、部活動を通して築くことができた仲間との関係、得られた知識と経験は何にも換えることができない財産だと思っています。後輩たちには、コンクールで学んだこと、課題だと感じたことをこれからの活動に生かし、よりよいギター部にしていくことを期待しています。

たくさんのご声援、ご協力誠にありがとうございました。

全国大会に出場して

珠算・電卓部 阿部帆乃夏

私たち珠算・電卓部は、六月に行われ



た県大会で、電卓の部では本校初となる優勝を果たし、八月に行われた全国大会へ出場してきました。県大会での優勝校発表の瞬間は、誰もが予想外という感じで、私たち自身とても驚きました。

なかなか実感が湧かないまま、私たちは全国大会が行われる東京へ向かいました。大会前日には、会場である東京武道館の下見に行きました。中に入ると、想像以上の広さに圧倒されてしまいました。同時にこの会場で行われる大会に自分が選手として出場するのだという実感も徐々に高まりました。

大会当日は、あまり緊張せずに会場入りすることができましたが、選手の数の多さにまた圧倒されてしまいました。しかし、周りのことは気にせず、自分の出せる力を精いっぱい発揮し、せつかくの全国大会を楽しみながら頑張ろうと気持ちを切り替えました。

結果は、残念ながら賞状を持ち帰ることができませんでしたが、中にはあと一歩で表彰された種目もあり、今後の自信につながりました。何より、私たちが全国大会で戦えるレベルまで成長できたことをうれしく思いました。後輩たちには、来年度も全国大会出場を目指して頑張ってほしいと思います。

最後に、たくさんのご声援をありがとうございました。来年度も珠算・電卓部の応援をよろしく願います。

部活動報告 (全日制)

運動部

- ▼硬式野球部 ▲
 - 〔全国高等学校野球選手権宮城大会〕
 - 2回戦敗退
- ▼陸上競技部 ▲
 - 〔県総体〕
 - 女子800m 準決勝進出(齋藤)
- ▼仙南新人大会)
 - 男子砲丸投 優勝(塚目)
 - 男子走高跳 準優勝(吉水)
- ▼ソフトテニス部男子 ▲
 - 〔仙南総体〕 個人準優勝(佐藤・木村組)
 - 〔県総体〕 団体 ベスト8
- ▼仙南新人)
 - 団体 準優勝
 - 個人 優勝 (秋山・木村組)
- ▼ソフトテニス部女子 ▲
 - 2位 (佐藤・佐藤組)
- ▼仙南総体)
 - 団体 優勝
 - 個人 優勝 (日下・高橋組)
- ▼県総体) 団体 ベスト16
- ▼仙南新人大会)
 - 団体 優勝
 - 個人 優勝 (日下・高橋組)
- ▼ソフトボール部 ▲
 - 〔県総体〕 一回戦敗退
- ▼卓球部男子 ▲
 - 〔県総体〕 個人 一回戦敗退
- ▼卓球部女子 ▲
 - 〔県総体〕 団体 二回戦敗退
 - 個人 二回戦敗退
- ▼バスケットボール部男子 ▲
 - 〔選手権〕 一回戦敗退
- ▼バスケットボール部女子 ▲
 - 〔県総体〕 一回戦敗退
- ▼バレーボール部男子 ▲
 - 〔県総体〕 一回戦敗退
- ▼バレーボール部女子 ▲
 - 〔仙南総体〕 準優勝
- ▼(県総体) 一回戦敗退
- ▼バドミントン部男子 ▲
 - 〔県総体〕 団体 二回戦敗退
 - 個人 二回戦敗退

▼バドミントン部女子 ▲
〔県総体〕 団体 一回戦敗退
個人 二回戦敗退

▼水泳部 ▲
〔仙南総体〕
男子100m 自由形 第2位(古川)
男子100m 背泳ぎ 第2位(及川)
男子200m 背泳ぎ 第2位(青木)

〔県総体〕 出場
〔県新人大会〕
男子50m 自由形 決勝進出(古川)
剣道部 ▲

〔県総体〕 一回戦敗退

学芸部

▼ギター部 ▲
〔全日本ギターコンクール〕
合奏部門 学校の部 最優秀賞

▼珠算電卓部 ▲
〔県珠算・電卓競技大会〕
〔電卓の部〕
団体総合 優勝
個人総合 第2位(阿部)
種目別伝票算 第2位(阿部)
種目別伝票算 第3位(千葉)

種目別伝票算 第3位(佐藤)
〔全国珠算・電卓競技大会〕
出場(伊藤・阿部・高橋)
〔県商業実務総合競技大会〕
〔電卓の部〕
団体総合 準優勝
個人総合 第3位(伊藤)

伝票算 第1位(伊藤)
第3位(高橋)
応用計算 第3位(佐藤)

〔東北珠算・電卓競技大会〕
〔電卓の部〕
団体総合 第5位

▼ワープロ部 ▲
〔県ワープロ競技大会〕
団体 優勝
個人 優勝(伊藤)

個人 準優勝(菅野)
〔東北ワープロ競技大会〕
団体 第3位
個人 準優勝(伊藤)

〔全国ワープロ競技大会〕 団体出場

〔県情報処理競技大会〕
団体 準優勝
個人 優良賞(廣澤)

▼コンピュータ部 ▲
〔県情報処理競技大会〕
団体 準優勝
個人 優良賞(廣澤)

〔全国情報処理競技大会〕 個人出場(廣澤)
〔県商業実務総合競技大会〕
〔アルゴリズム部門〕
団体 準優勝
個人 第3位

〔ビジネス情報部門〕
個人 第3位(岩山)

▼簿記部 ▲
〔県簿記コンクール〕 団体 第3位
〔全国簿記コンクール〕 個人出場(小島・高宮)
〔県商業実務総合競技大会〕
〔商業簿記部門〕
団体 第2位
個人 第3位(村上)

〔商業簿記部門〕
団体 第2位
個人 第3位(村上)

〔簿記会計部門〕
団体 第3位
個人 優勝(高宮)

▼書道部 ▲
〔県書道展覧会〕
特選(菊地)
金賞(佐藤)

▼美術部 ▲
〔仙南美術展〕
優秀賞(相澤)
優秀賞(今野)

▼吹奏楽部 ▲
〔県吹奏楽コンクール〕
高等学校小編成の部 金賞
管打楽器七重奏 銀賞
管六重奏 銀賞

▼放送局 ▲
〔県高校放送コンテスト〕
朗読部門 優秀賞(沖村)

〔東北アナウンス朗読コンテスト〕
朗読部門 入選(沖村)

〔全国放送コンテスト〕
朗読部門 準決勝進出(沖村)
〔県放送コンテスト新人大会〕
朗読部門 優秀賞(沖村)

▼商業研究グループ ▲
〔県高等学校生徒商業研究発表大会〕 第4位

定時制

全国大会に出場して
峯田 洸弥

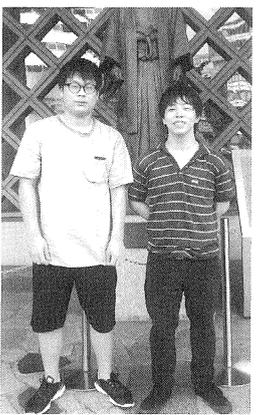
私は、今年も柔道人口が減っているおかげで運良く全国大会に出場することができた。今年で最後ということでは練習会に頑張って参加した。やはり県大会以降余り練習ができなかったため、最初の全国大会に向けての練習では吐きそうになるほど疲れてしまった。

二回目の練習で軽めの練習だったがやはり体力が持たなかった。そんな中自分なりに工夫し持ちこたえるやり方を発見した。

そして全国大会へとむかった。講道館に到着し計量前の練習があった。何といたらいいか会場はいつもの熱気と違うように感じた。計量は無事に終わりのよい明日が試合だ。

試合が始まった。まず団体戦だ。宮城県は三人でエントリーし全員が勝たなければ次へは進めない。勝つたのは私と英斗君だけだった。惜しかった。次の個人戦は全力で今までの力を出したが負けてしまった。英斗君は一回戦を勝ち進み二回戦で惜しくも負けてしまった。

今回の大会で私は、柔道を続けること、



失敗してもいいから試してみることが大事であることを学んだ。
東京に今年も行けてすごく嬉しかったし、良い経験、良い思い出を作ることができ、本当に楽しい三日間だった。

部活動報告(定時制)

クラブ活動

- ◇仙南大会(6月13日)
▼バドミントン部(旧白石高校体育館) ▲
男子個人 二回戦敗退
女子個人 第3位(二年) 小島 綾香
- ▼卓球部(名取高校体育館) ▲
女子個人 二回戦敗退
- ▼バスケットボール部(本校第一体育館) ▲
男子 第3位
- ▼柔道部(本校柔道場) ▲
練習会

- ◇県大会(6月20日)
▼バドミントン部(仙台市立工業高校体育館) ▲
男子個人 二回戦敗退
女子個人 第3位(三年) 渡邊 彩香
- ▼卓球部(仙台市体育館第二競技場) ▲
女子個人 二回戦敗退
- ▼バスケットボール部(仙台市若林体育館) ▲
男子 二回戦 対貞山高校 敗退
- ▼柔道部(仙台大志高校武道場) ▲
男子個人
- 65 kg級 第1位(四年) 峯田 洸弥
- 90 kg級 第1位(二年) 渡邊 英斗

- ◇全国大会
▼柔道部(8月5、6日 東京都講道館) ▲
男子団体 二回戦敗退
男子個人
- 65 kg級 一回戦敗退(四年) 峯田 洸弥
- 90 kg級 二回戦敗退(二年) 渡邊 英斗

- ◇その他
▼第64回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会宮城県大会(10月7日) ▲
優良賞(二年) 渡邊 英斗

在職当時に振り返って

旧職員 鈴木 務

私は昭和四十七年四月から平成十二年三月まで商業科の教諭として勤務し、定年後引き続き講師として四年間、合計三十二年間お世話になりました。先日、同窓会事務局から同窓会報への寄稿依頼がありました。今年度の同窓会総会の当番幹事が昭和五十八年三月卒業の学年であり、その学年主任だった私にということでした。

赴任した昭和四十七年は、校名が「大河原高校」の最後の年でありました。商業高校として大きく変革しようとする時であり、学校全体が活気に満ちていました。大商での生活が長かっただけに思い出は多々ありますが、部員と共に汗した部活動は特に鮮明に思い出されます。野球部三年、バドミントン部十八年、ワープロ部を七年間担当しました。

部活動の最初の担当は野球部でした。草野球の経験はあっても高校野球は初めてでありました。当時の校長は菅原敬先生で、高野連仙南支部の支部長をやらせていました。私には部長と事務局の仕事をしてほしいとのことでした。新監督の就任が少し遅れていたが、そのような時、石巻の旧水押球場で行われる県の選抜大会への出場が決ったのでした。その年初の公式試合で、選手達はやる気満々。私も代理監督としてユニフォームを着てベンチに入りました。

監督不在で力を抜いた試合をするのではと心配しましたが、取越し苦労でした。選手達は本気で戦い、大高野球部のよき伝統を引き継いだ部員達に救われた思いでした。帰校した

時には、大きな責任を果たしたような安堵感でいっぱいでした。今でも忘れない初仕事のスタートでした。新監督に就任したのは村上昭之助氏（村昭商店主人）でした。野球大好きで、忙しい家業をそっこのけで熱心に指導してくれました。監督に助けられての三年間でした。病氣知らずが自慢でがっしりした体格の方でしたが、若くして突然亡くなられ、誠に残念でなりませんでした。

次に思い出されるのは、進路指導に関する研究があります。昭和五十九・六十年（賊）日本進路指導協会研究委託校として「進路指導」に関する研究委託を受け、さらに、文部省より昭和六十一年度高等学校教育課程（進路指導関係）の研究指定を受けたのでした。校長は我妻三男先生でありました。今年度同窓会幹事となる学年の学年主任を終えたばかりの私に、進路指導研究推進委員会の委員長を引き受けてほしいとの依頼を受けました。これまでの担当する教科、科目の研究と異なり全校あげての研究であり、全教職員の協力なくしてはなしえないものでありました。また、三年間の長丁場でもあり、大変荷が重く感じてのスタートでした。幸いにも研究スタッフは、進路指導部長をはじめとしてベテラン揃いで、十分な協力と力添えをいただきました。研究スタッフは日常の業務と並行しての研究であり、夜遅くまで時には休日返上で行われました。また、生徒達も真剣に取り組んでくれて、研究の進捗に大いに貢献してくれました。特筆すべきは、研究課程で視聴覚機器の整備が取り上げられ、その導入が短期間に実現したことでありました。全学年、全教室へのテレビの設置が学年進行で進められ、昭和六十一年度に完了したのでした。この機器は、進路学習のみならず、各教科の指導にも大いに活用されました。これらの設備は我

妻校長先生の絶大なる助力があつて実現したものでした。文部省の進路指導調査官が書いた出版物に、進路指導の先進校として本校を紹介し、研究内容を詳しく掲載してあります。この研究が完遂できたのは、研究スタッフと全校の教職員の協力があつたからであることは当然であります。さらには、昭和三十年代から先輩の先生方が積み重ねてきた土台があつたからだと思います。また、私が本校に赴任して以来、各種の研究チームで先輩の先生方から指導をいただきながらの経験が役立ったと考えており、感謝しかありません。

在職当時に振り返れば、各種検定や部活動の大会等の結果が示すように、生徒達の各方面での活躍はめざましいものでした。また、教職員はチームワークがよく、常に生徒達の成長を願い研究熱心でありました。

明るくてにぎやかな生徒達と共に学校全体が和やかで、居心地がよく、このような中で勤務できたことは大変幸せでありました。

同窓生皆様様の益々のご発展と大商のご隆盛を祈念申し上げます。



ご案内

今年度の本部総会・東京支部総会を次の通り開催いたします。

本部総会

日時 平成三十年五月二十六日（土）

午後三時～総会・懇親会

場所 ララ・さくら（大河原町中島）

TEL 〇二二四（五三）一五六三

会費 三、五〇〇円（新卒二、〇〇〇円）

※総会終了後、後輩が奏でるギターの調べをお楽しみください。

同窓会会長 大沼 俊臣

東京支部総会

日時 平成三十年六月二十三日（土）

午後十二時～総会・懇親会

場所 池田屋（吉池本店ビル九階）

台東区上野三二二十七―一二

JR御徒町駅 北口駅前

TEL 〇三（三八三六）〇四四五

会費 五、〇〇〇円

ひととき雑踏を忘れて語りましょう。お誘い合わせて是非ご参加下さい。

東京支部長 黒田 正喜

☆同窓会では、多くの卒業生の皆さんに総会に参加して頂きたいと平成三十三年度より当番学年を設けています。今年度の当番学年は昭和四十八年・五十八年・平成五年・二十五年卒業の方々です。役員、卒業時の評議員の方々にお世話役をお願いしております。声を掛けあつて、どうぞご参加下さいませようお願いします。